

科目	グローバルマネジメント	担当	盧 聡明	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

米国大統領の選挙の結果とその後の大統領の行動が世界の価値観を一変させた。日本経済や企業のグローバル戦略にも一定の影響を与えている。このような国際環境の変化に留意しつつ、海外における日本企業の国際競争力の源泉を探求し、国際舞台で事業を展開する日系企業と多国籍企業のケース・スタディーなどを通じて、グローバルマネジメントの基本と世界を取り巻く環境への企業対策を学習する。なお、国際経営の舞台においては、常に異文化の出会いがあり、この講義で異文化経営分野の基礎知識を得ることもできる。

【履修注意】

本講義は国際ビジネスコースの必修科目である。課題の配布やレポートの提出はレポートシステムを利用しているので、講義には毎回パソコンを持参すること。但し、授業中に講義内容と関係ないパソコンの使用や携帯電話、私語、飲食は禁止。理解度を高めるために、記入用の講義ノートも適宜配布する。マスメディアやインターネット媒体などで報道された日系企業の活動や海外情報に留意し、できるだけ日本経済新聞などの専門紙を読む習慣を身に付けること。遅刻と早退は学内規程により欠席と見なす場合があり、規定の欠席回数を超えると、D評価(不合格)となる。

【評価方法】

期末と中間まとめでの評価を中心(80%)に、期間中の小レポートの得点、出席や講義議論の参加状況等(20%)を総合的に勘案して評価する。

【試験について】

筆記試験を実施する予定。

再試験対象者の条件:40点以上且つ出席率は3分の2以上であること。

【予習・復習】

予め発表した各テーマ項目に応じて、参考書にある関連項目の内容を予習しておくこと(週90分以上)。また、各回に配布するパワーポイント教材と講義ノート(毎回配布)を中心に復習すること。

【教科書】

購入教科書なし。

【参考書】

書籍名:『グローバル経営の理論と実態』 著者:中村久人著 出版社:同文館出版
 書籍名:『グローバルマネジメント』 著者:ジョージ・S・イップ著、浅野徹訳 出版社:ジャパンタイムズ
 書籍名:『グローバル経営入門』 著者:浅川和宏著 出版社:日本経済新聞出版社

【その他の注意事項】

追・再試はあくまでも公欠のために出席できない学生や一定の成績と出席数以上の学生のみに対して実施すること。追・再試の内容は期末試験の内容とダブることがない。

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	世界一になるグローバル企業の条件	トヨタの海外進出、現地人材の活用、現地攻防
2	グローバル社会と時代への招待	国際化、グローバル企業、グローバル戦略
3	グローバルマネジメントの研究領域と基本理解①	法人税と税率負担、ニシンとナマズの話、人材育成
4	グローバルマネジメントの研究領域と基本理解②	国際化の指標、クールジャパン、Win-Win関係
5	グローバルマネジメントの研究領域と基本理解③	学際的研究、基礎理論、貿易と経済のグローバル化
6	グローバルマネジメントの研究領域と基本理解④	貿易収支、為替、自由貿易と保護貿易
7	日本企業の海外進出について	国境を越えた製造ネットワーク、海外の物流
8	中間まとめ	異文化のロールプレーとレポートの作成
9	国際社会の変化とグローバルイゼーションへの影響	グローバルイゼーション推進力、経営学文化的意味
10	近年の日系企業の海外投資戦略	進出地域、進出形態、日本的経営、現地化
11	異文化経営①～基本理解～	異文化コミュニケーション、カルチャー・ショック
12	異文化経営②～海外日系企業の経営実態～	現地人の有効活用、求められる管理職像
13	電子商取引時代とグローバル経営	Eコマース、電子商取引、B2B、B2C
14	グローバル競争の展開	グローバル競争の基本、規模経済性、範囲経済性
15	海外投資・進出調査の実務	市場動向と政策分析、FSの作成、SWOT分析と応用
16	期末試験	15コマの復習・確認・総括